

静岡県デジタル人材育成協議会

委員名簿

委員

氏 名	役 職	備 考	参加形態
池田 哲夫	静岡県立大学経営情報学部経営情報学科名誉教授	学識経験	対面
塩見 彰睦	静岡大学情報学部情報科学学科教授	学識経験	オンライン
湯瀬 裕昭	静岡県立大学経営情報学部経営情報学科教授	学識経験	対面
鄭 萬溶	沼津工業高等専門学校電子制御工学科教授	学識経験	オンライン
渡邊 嘉彦	一般社団法人 インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ	産業支援機関	対面
阪口 瀬理奈	公益財団法人静岡県産業振興財団 デジタル人材確保育成プロデューサー	産業支援機関	対面

事務局

氏 名	役 職
山家 裕史	静岡県経済産業部産業革新局長
内藤 圭吾	静岡県経済産業部産業革新局 産業イノベーション推進課長
土田 真理子	静岡県経済産業部産業革新局 産業イノベーション推進課長代理
西塚 拳斗	静岡県経済産業部産業革新局 産業イノベーション推進課 主任
藤森 洋史	企画部デジタル戦略課 デジタル戦略課長
百々 尊明	静岡県経済産業部就業支援局 職業能力開発課 主査
貝瀬 住章	静岡県教育委員会事務局 高校教育課 指導監

「静岡県デジタル人材育成協議会」の設置及び運営に関する要綱

(趣旨)

第1条 AI や IoT 等の先端技術が急速に進展する中、デジタル人材の確保・育成や先端企業とのマッチング、デジタル技術に秀でた子どもの育成等の課題に対応するため、産学官が連携して対応策を検討する「静岡県デジタル人材育成協議会」(以下、協議会という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 本県のデジタル人材確保・育成施策に関すること。
- (2) その他本県のデジタル人材確保・育成のために必要な協議に関すること。

(委員)

第3条 協議会は、経済産業部長が委嘱する委員をもって構成する。

- 2 委員の任期は、委嘱の日から当該年度の3月31日までとする。

(委員長)

第4条 協議会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、協議会を総轄する。
- 3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

(協議会)

第5条 協議会の議長は、委員長が務める。

- 2 委員長又は経済産業部長が必要と認めた場合は、協議会に委員以外の者の出席を求めることができる。

(報償費)

第6条 静岡県は、委員及び第5条第2項の者に対し、以下に掲げる報償費等を支給することができる。

- (1) 報償費 協議会に出席した場合
 - ア 委員長：12,500 円
 - イ 委員及び第5条第2項の者：11,500 円
- (2) 旅費 静岡県職員の旅費に関する条例（昭和31年静岡県条例第48号）に定める額に準ずる額とする。

(事務局)

第7条 協議会の庶務は、静岡県経済産業部産業革新局産業イノベーション推進課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は経済産業部長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年11月7日から施行する。

附 則

この改正は、平成31年4月19日から施行する。

附 則

この改正は、令和7年4月16日から施行する。

附 則

この改正は、令和7年7月10日から施行する。

国の動向

- 2030年には**デジタル人材が最大79万人不足**するとの予測
- DXを実現するために必要な人物像を細分化、「**デジタルスキル標準**」として整理
- 「人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律(AI法)」施行、「人工知能基本計画(AI基本計画)」策定。「**世界で最もAIを開発・活用しやすい国**」を目指す

本県の状況

- 「ICT人材を確保している企業の割合」は前戦略策定時から増加しているが、**ここ数年は横ばい**
- デジタル人材(情報通信産業の従業者数)の割合は1.2%と**全国平均より依然として低い状況**
- AI導入の課題は「**社内に詳しい人材がない**」、「**投資対効果が不明**」が多数

産業界の声・有識者意見

- 各企業が**デジタル人材に求める役割・スキルが多様化**
- **成功した企業の事例を知りたい**という声が多い
- デジタルスキルの多様なニーズに対応できる人材の育成が必要
- **全ての階層でAIへの対応が必要**
- 次世代人材は、**プログラミング以外のデジタルスキルの教育も必要**

目指すべき姿 本県産業の新たな価値の創造や生産性向上に貢献するデジタル人材が活躍する地域

施策の重点方針 I. デジタル人材の役割・スキルの多様化への対応 II. AIイノベーションの推進 III. 成功事例の創出と横展開の強化

施策展開	これまでの主な取組	施策の方向性	取組内容
トップレベル人材	・ 首都圏等SUと県内企業のビジネスマッチング ・ ICT関連企業の誘致(高度ICT人材確保) ・ イノベーション拠点への人と情報の集積 ・ 3次元点群データを活用して仮想空間を構築できる人材の育成	・ 県内企業とスタートアップとの共創事例の創出と横展開	○ 首都圏等SUと県内企業のビジネスマッチング ○ イノベーション拠点への人と情報の集積 ○ 3次元点群データを活用して仮想空間を構築できる人材の育成 ○ 県内でのSUの実証実験の促進【R7新規】 ○ 中小企業へのAI導入実証の支援【R8新規】
中核的人材	・ 先端ICT技術習得を図る講座 ・ 製造現場等におけるAI・IoT導入の支援 ・ オープンイノベーションの創出支援 ・ 高度外国人材の活用	・ 企業のDXに向けた人材(高度外国人材含む)確保の強化 ・ エンジニアのビジネス現場での実務力の養成 ・ AIの活用を促す取組の強化 ・ オープンイノベーションを推進できる人材の育成	○ 先端デジタル技術習得を図る講座 ○ 製造現場等におけるAI・IoT導入の支援 ○ 企業のエンジニア採用力向上支援【R8拡充】 ○ オープンイノベーションの創出支援 ○ 高度外国人材の活用 ○ 若者等と連携した企業の生成AI活用促進【R8新規】
全てのビジネスパーソン	・ デジタルリテラシー向上を図る講座 ・ AI活用に向けた普及・啓発 ・ デジタル技術活用事例の普及・啓発 ・ 県立工科短期大学校における在職者・離転職者訓練	・ 経営者層をはじめとした全てのビジネスパーソンのAI等のリテラシー向上	○ AI等デジタルリテラシー向上を図る講座 ○ AI活用に向けた普及・啓発 ○ デジタル技術活用事例の普及・啓発 ○ 県立工科短期大学校における在職者・離転職者訓練
次世代人材	・ 先端技術を習得した高度人材の育成 ・ 学齢期におけるデジタル技術に親しむ機会の提供 ・ 小中高校生を対象としたプログラミングコンテスト ・ 教員研修及び学校環境の整備	・ 小中高校生等の多様なデジタルスキルを育む取組の拡充	○ 先端技術を習得した高度人材の育成 ○ 学齢期におけるデジタル技術に親しむ機会の提供 ○ 次世代AI開発者(エンジニア)の育成【R8新規】 ○ 次世代AI事業企画者(ビジネスプランナー)の育成【R8新規】 ○ 教員研修及び学校環境の整備

KPI	基準値(2024年度)	目標値(2028年度)	積算根拠
デジタル人材を確保している企業の割合	55.8%	67.0%	2025年度:58%を基に+3.0%/年
AIを導入済みまたは検討している企業の割合	42.1%	82.0%	直近の増加率を踏まえ+10.0%/年

◆「静岡県デジタル人材確保・育成戦略（2025～2028）」に基づき事業展開。 デジタル人材を巡る社会状況の変化を捉えながら事業を展開する。

2019.2 ○ ふじのくに ICT 人材確保・育成戦略

・デジタル人材を巡る社会状況の変化（デジタル人材のスキルの多様化、生成 AI の急速な発展 等）

2026.3 ○ 静岡県デジタル人材確保・育成戦略（2025～2028）

デジタル人材の役割・
スキルの多様化への対応

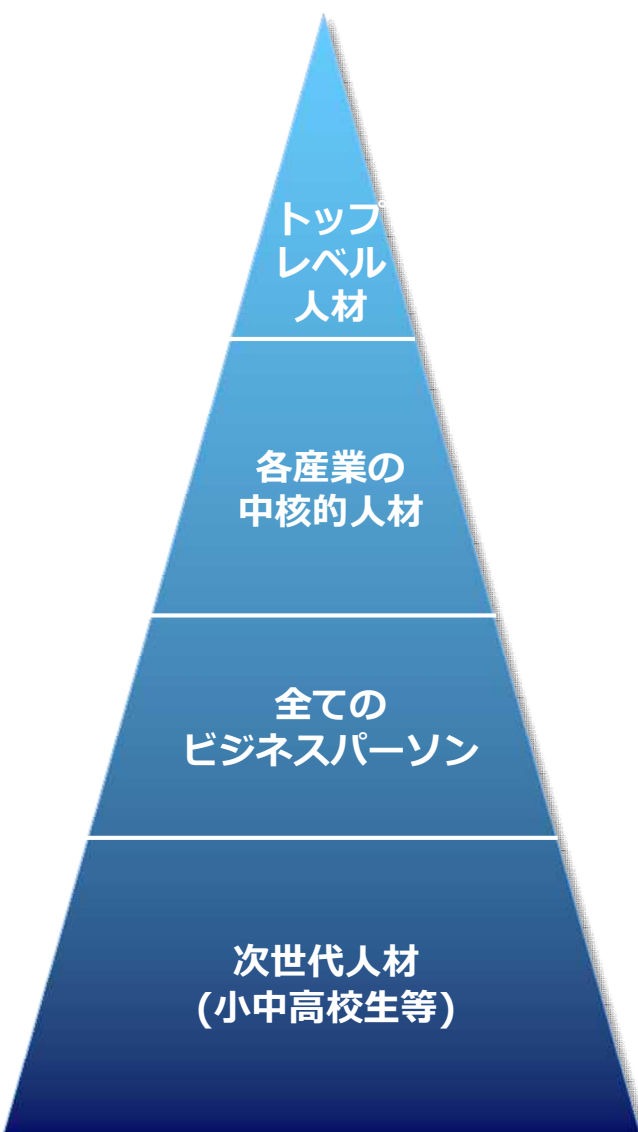
AI イノベーションの推進

成功事例の創出と
横展開の強化

2029.3 ○

令和8年度デジタル人材確保・育成の取組概要

◆「静岡県デジタル人材確保・育成戦略」に基づき、4つの階層毎に施策を展開



事業内容
[1-1]TECH BEAT Shizuokaの開催 [1-2]イノベーション拠点（SHIP）の運営 [1-3]3次元点群データを活用して仮想空間を構築できる人材の育成 [1-4]実証実験サポート事業によるスタートアップ支援、地域課題解決 [1-5]AI事業者と県内企業をマッチングし、導入に向けた実証を支援
[2-1]先端デジタル技術習得を図る講座の開催（静大、高専連携講座） [2-2]AI・IoT導入、企業のエンジニア採用向上支援 [2-3]SHIPを活用した交流・挑戦を後押しするイベントの開催 [2-4]高度外国人材と県内企業のマッチング [2-5]DXを活用した企業課題解決型プログラムの実施
[3-1]AI等デジタルリテラシー向上を図る講座の開催（県大連携） [3-2]SHIPを活用したAIセミナー開催の支援 [3-3]TECH BEAT Shizuokaによるデジタル技術活用事例の普及・啓発 [3-4]県立工科短期大学校における在職者・離転職者訓練
[4-1]県立工科短期大学校における若年者訓練 [4-2]学齢期におけるデジタル技術に親しむ機会の提供 [4-3]次世代AI開発者（エンジニア）の育成 [4-4]次世代AI事業企画者（ビジネスプランナー）の育成 [4-5]教員研修及び学校環境の整備

【トップレベル人材、全てのビジネスパーソン】 TECH BEAT Shizuokaの実績、デジタル技術活用事例の普及[1-1]/[3-3]



【概要】

- ・首都圏等のスタートアップ企業と県内企業の協業を促すビジネスマッチング
- ・トップレベルのデジタル人材を県内に呼び込むことを目的として、令和元年度から実施
- ・8年間（R1～8）で3,304件の商談を実施
- ・R8参加企業の状況

スタートアップ	205社
県内企業 (スポンサー)	129社



(会場の様子：R8)

TECH BEAT Shizuoka 2026の開催

- ✓ 7/23(木)～25(土)に、グランシップでリアル開催。
- ✓ 昨年度に引き続き、ファミリー・学生向け体験型コンテンツを用意。

<主なコンテンツ>

【基調講演】

「取り戻せ！新興国魂
～インドから教えてもらった大切なこと～」
石井 直己 スズキ(株) 代表取締役副社長

【トークセッション】

「CAIO知事が率いる「AI先進県・静岡」
～フィジカルAIが創る地域産業の新時代～」
鈴木 康友 静岡県知事
松尾 豊 東京大学大学院工学系研究科 教授
上野山 勝也 (株)PKSHA Technology 代表取締役
佐藤 羽瑠 (株)HIBARI 代表取締役CEO

【ファミリー・学生向け体験型コンテンツ】

- ✓ デジタル技術を活用した体験型ブース
 - ・(株)リトプラ「お絵描きダンジョン」
 - ・eスポーツフェスティバル 他

【TECH BEAT Shizuoka AWARD 2026】

- ✓ TECH BEAT Shizuokaから生まれた協業事例を表彰

賞	県内企業	スタートアップ	内容
静岡県知事賞	(株)レント	(株)Quantaris Lab	分析器リースをきっかけに協業 新規事業（農業分野）への参入に寄与
実行委員会委員長賞	イメージテック(株)	(株)346	X線発生器の筐体設計で協業、 今後の製品開発や市場展開に寄与
特別賞	(株)すみや電器	(株)セールスフォース・ジャパン	AI活用で営業ノウハウを蓄積、 若手職員の育成に寄与

TECH BEATを通じた、県内企業とスタートアップによる新ビジネスの更なる創出を目指す！

静岡の現場力でAIは進化する。



(リトプラ「お絵描きダンジョン」)

【トップレベル人材、全てのビジネスパーソン】 TECH BEAT Shizuokaの実績、デジタル技術活用事例の普及[1-1]/[3-3]

これまでの実績

(単位：人、回、件、%)

区 分	R1		R2			R3		R 4	R5	R6	R7	R8	計
	全体版	農 業	全体版	医 療	農林業	農林水産	全体版	全体版	全体版	全体版	全体版	全体版	
開催方式	リアル	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン	リアル + オンライン	リアル 〔一部 オンライン〕	リアル	リアル	リアル	－
入場者数	3,300	－	－	－	－	－	－	1,937	5,474	7,622	10,125	14,684	43,142
オンライン 視聴者数	－	1,005	2,798	780	703	692	1,815	1,068	－	－	－	－	8,861
オンライン 視聴回数	－	2,459	12,346	2,815	2,034	2,494	5,406	4,497	－	－	－	－	32,051
商談件数	440	90	320	14	79	28	163	276	149	642	670	216	3,304
満 足 度	81.4	89.3	69.8	54.2	58.8	94.1	67.8	63.3	71.8	77.6	78.1	集中	－

【トップレベル人材、中核的人材、全てのビジネスパーソン】 イノベーション拠点「SHIP」の運営、イベント開催等[1-2]/[2-3]/[3-2]



SHIZUOKA INNOVATION PLATFORM

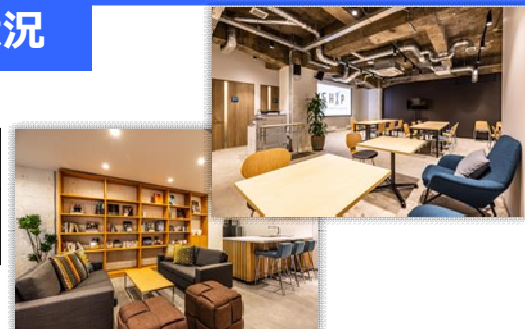
【概要】

- デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用して、静岡市葵区にイノベーション拠点「SHIP」を整備し、令和5年3月9日（木）に開所。
- SHIPにおける県主催のデジタル人材育成講座等の開催や、各種セミナー等の実施により、トップレベルのデジタル人材を確保・育成するとともに、異業種間交流等によるオープンイノベーションを推進。
- 令和5年12月から「SHIP」にスタートアップ支援窓口を設置。県内スタートアップの育成と県外からの呼び込みを進める。
- 令和7年度より起業等に関心のある学生のコミュニティ「CREWS」を運営。

イノベーション拠点「SHIP」の運営状況

✓ 利用者の状況（令和8年7月末時点）

会員数	3,930名
累計来場者数	23,556名 (1日あたり平均30名)



✓ 主な取組

＜デジタル人材育成＞

トップレベル人材	デジタル技術を活用したビジネス創造や変革を担う人材の育成講座
各産業の中核的人材	AIプランナー育成講座、データ分析講座
全てのビジネスパーソン	セミナー（生成AI、マーケティング等）
次世代人材	CREWSの運営、次世代AI事業企画者（対象：高校生）の育成

＜SHIP AI Business Academy（トップレベル人材育成講座）＞

対象	県内在住・在勤・在学の社会人又は学生
内容	講義：AI活用や新規事業・ビジネスモデルの基礎習得 ワークショップ：顧客課題解決や組織づくりの実践 成果発表会：受講者によるビジネスモデルの発表



＜オープンイノベーション＞

- ・会員交流会（DXの取組紹介等）
- ・スタートアップによるピッチ（事業紹介）
- ・県内外のイノベーション拠点（FUSE、Camps、NEX Tokyo）との連携（セミナー聴講等）

＜スタートアップ支援＞

- ・スタートアップ支援相談員の設置（11名）

相談実績	920件（令和8年7月末現在）
相談対応例	事業計画のブラッシュアップ、協業先候補の提案 等

【トップレベル人材】 3次元点群データを活用して仮想空間を構築できるデジタルクリエイターの育成[1-3] (デジタル戦略課)



【概要】

- ・仮想空間分野における人づくりと仕事づくりを進めるため、学校法人静岡理科大学と令和6年6月17日に寄附講座設置のための協定を締結。
- ・3次元点群データ等を活用し、関連産業領域で活躍できる人材を育成するとともに、仮想空間分野の認知度向上や、人材の県内定着・県内産業の振興を目指す。

静岡県XR（クロスリアリティ）寄附講座

✓ 主な取組

＜教育プログラムの開発＞

- ・3次元点群データ等を活用した新しい教育プログラムの開発や学校横断型の学習機会の創出などを通じて、関連産業等で活躍できる人材を育成（令和6年度から順次開始）

寄附講座に参加する学部・学科

静岡理科大学	情報学部
静岡産業技術専門学校	ゲームクリエイト科
静岡デザイン専門学校	C Gデザイン科
沼津情報・ビジネス専門学校	ゲームクリエイト科
浜松未来総合専門学校	ゲームクリエイト科

＜コミュニティ＞

- ・仮想空間分野に興味・関心のある、学生、教員、企業等を対象が加入するコミュニティ「C I T Y」を立ち上げ

イベント開催	定期的にイベントを開始し、会員の知識習得支援や会員間交流を促進（8回・410名参加）
X R 学生活動プロジェクト助成制度	学生の学外の活動に対して、助成制度を設け、研究、教育、地域交流などのプロジェクトを支援（8件採択）

＜X R 学生活動プロジェクト＞

＜外部向け講座＞

- ・仮想空間分野の認知度向上を目的に、公開講座等を開催

学校法人静岡理科大学 静岡県XR（クロスリアリティ）寄附講座 2025年度 第2回公開講座

XRでつくる地域と人材の未来 ～社会実装から教育・クリエイター育成まで～

XRは「社会でどのように使われているのか」「どのように学び、所属の仕事や活動につながっていくのか」。

静岡県XR寄附講座が目指すデジタル人材の育成とは、最先端の技術を使った学習機会の創出、コミュニティ（CITY）での学生と企業・地域の交流が、社会実装と教育を一本のストーリーで結びます。

講師1

講師2

講師3

講師4

講師5

講師6

3/2 (月) 13:30～16:30 (受付 13:00～)

参加無料

第1部 13:30～14:30 14:00～14:30

第2部 14:30～16:30

120名様

静岡県XR（クロスリアリティ）寄附講座

XR学生活動プロジェクト 成果発表会

静岡県理工科大学グループの学生たちが、XRの学びを自らの手で実案へつなぐため情熱を注いで取り組んできたプロジェクト。その成果が集結し、次代を動かす力として披露されます。

2026 2/25 (木) 12:30開場～17:45 開演

会場：静岡県理工科大学グループ静岡駅前キャンパス 4Fホール (静岡県静岡市駿河区南町10番地 M2020A)

参加無料

対象：高校生・大学生・社会人（一部、学生は限ります。100名（定員が超過する場合は先着順））

内容：

- CID 13:00～ XR教育・技術導入の現状と未来
- CID 13:30～ XR教育・技術導入の現状と未来
- CID 14:00～ XR教育・技術導入の現状と未来
- CID 14:30～ XR学生活動プロジェクト成果発表会



(右) 学生発表時の様子



【概要】

- ・静岡県をフィールドに実証実験を行うスタートアップ（SU）に対し、資金面や地域とのマッチング等の支援を実施
- ・SUの成長を後押しするとともに、地域課題の解決に繋げる

〈運営〉株式会社eiicon

オープンイノベーションに関するプロモーション支援やコンサルティングサービス、イベント企画等を実施。自治体のオープンイノベーション事業を複数実施

実証実験サポート事業の概要

事業名称「CO-LAB Shizuoka（コラボシズオカ）」

- ・地域パートナーが抱える地域課題等の解決のため、SUが県内で実施する実証に対して、実証フィールドの提供や実証経費の補助（補助率1/2、上限200万円）を実施

〈募集テーマ〉

- ①観光・商業活性化、②インフラ・防災・まちづくり、③行政課題、④農林水産・食、⑤モノづくり活性化、⑥ヘルスケア・ウェルネス、⑦脱炭素・ESG

〈地域パートナー〉

- ・SUの実証実験について、地域ぐるみで支援するための協力者（自治体、金融機関、支援機関、事業会社等）
- ・令和8年7月21日時点で48団体が参画
- ・地域課題の提供、実証フィールドの提供、地域企業など保有するネットワークへの接続を実施

R8スケジュール

- ・6/5～7/17：地域パートナー募集、地域課題設定
- ・7/21～8/21：SU募集
- ・8月下旬～10月末：地域パートナーとの実証計画立案、採択SU決定（書類・プレゼン審査実施。10社程度採択予定）
- ・11月～2月：実証実験実施
- ・3月：成果報告会



(R7)SU×地域パートナー
合同キックオフの様子



(R7)成果報告会の様子



【概要】

- 県内中小企業等による、AIを活用した付加価値の高い製品・サービスの創出等を目指し、全国のAI事業者と県内企業との新たなAIソリューションの開発実証を支援
- 採択者（3社）には、開発・実証の伴走支援、経費の補助等を実施

〈運営〉

有限責任監査法人トーマツ



A I 事業者



県内中小企業等

AIソリューション開発等支援事業の概要

事業名称「シズオカ×A I チャレンジ」

- 県内中小企業等による、AIを活用した付加価値の高い製品・サービスの創出等を目指し、令和8年度から「シズオカ×A I チャレンジ」を実施
- 全国のAI事業者（AI開発やAIを活用したソリューション開発ができる事業者）が提案したアイデアを特設HPに掲載
- 県内企業からの協業希望をもとに、事務局支援による両者のマッチングを実施
- 1次（書面審査）及び2次（プレゼン審査）を経て、採択者（3社）のAI事業者には、開発・実証の伴走支援、経費の補助等（補助率1/2、上限500万円）を実施

＜主な対象者要件＞

A I 事業者：AI開発やAIを活用したソリューション開発ができる全国の中小企業者で、法人設立から15年未満、又は実証を行うサービス・プロダクトの開発等の着手が10年以内の法人

県内企業：静岡県内に本社を登記しており、県内で開発・実証が可能なフィールドを有する法人

＜特設HP アイデア掲載ページ＞



R8スケジュール

- 6/11～7/31：AI事業者からアイデア募集
- 7/9～9/4：県内企業のマッチング応募
- 9/25：実証計画書の提出期限
- 10/9：1次審査（書面審査）結果通知
- 10/16：2次審査（プレゼン審査）
- 10月中旬：補助金交付申請（採択者のみ）
- 10月下旬：補助金交付決定
- 11月上旬～3/15：開発実証

【中核的人材】 先端デジタル技術習得を図る講座の開催（静大、高専連携講座）[2-1]

○データ分析講座

- 【概要】
- ・ 静岡大学と連携し、統計の基礎から実践演習まで実施



データ分析講座（静岡大学連携講座）

- ✓ データを活用して課題解決力を養うデータ分析講座

日 付	内 容	
7月10日	基礎編	基礎理論：データの見方、基本統計量の意味と整理
7月24日		相関、検定：データの関係性の分析
8月6日		回帰分析等：原因の結果の分析
8月20日	応用編	離散選択モデル、分類・グループ化



データ分析講座の様子

- ✓ 講義は全てSHIPで開催
- ✓ 参加者：基礎編 6 人、応用編 4 人

○AIプランナー育成

- 【概要】
- ・ 沼津高専と連携し、AI基礎からAI導入プロジェクトの体験まで実施



AIプランナー育成講座（沼津高専連携講座）

- ✓ 社内のAI導入に向けたプロジェクトの担当者を対象とした講座

日 付	内 容	
6月30日	AI基礎：AIリテラシー	AI基礎：AIリテラシー
7月7日		AI基礎：生成AIの基礎と事例
7月14日	AI体験：ChatGPT、NotebookLMなどのAIルーツ活用法	AI体験：ChatGPT、NotebookLMなどのAIルーツ活用法
7月21日		ビジネス実践：AI導入プロジェクトの模擬体験（演習）



AIプランナー育成講座の様子

- ✓ 講義は全てSHIPで開催
- ✓ 参加者：17 人

【中核的人材】 AI・IoT導入、企業のエンジニア採用向上支援[2-2]

DX Acceleration Local Lab 静岡県DX推進ラボ



(大学連携講座の演習風景)

【概要】

- ・ 県内中小企業のIoT・AI活用を推進するため、静岡大学・工業技術研究所と連携した実践講座を実施（セミナー、座学、演習、現場実装まで一貫支援）
- ・ 静岡県AI・IoT推進ラボに最新のIoT・AI機器を展示し、見学や体験を通じて企業の関心を喚起（YouTubeやストリートビューでのオンライン公開を整備）
- ・ 静岡県ロボット・AI・IoTフェアを開催し、県内企業による最新機器展示とマッチングを促進

IoT大学連携講座

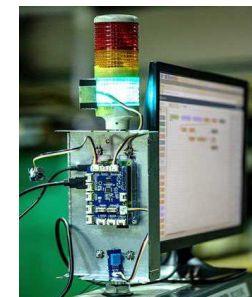
- ✓ 第1部座学：静岡大学峰野教授によるIoT技術的知識講座
- ✓ 第2部演習：IoT実機のセットアップ実習
- ✓ 参加者は専門家の支援を受けながら、IoT機器を現場実装



第2部演習

実績・成果

第1部	7/9（木）参加者：60人
第2部	静岡
	9/10（木）
	7社（予定）



現場への実装

静岡県AI・IoT推進ラボ

- ✓ 最新機器の「展示室」と実機演習をする「研修室」で構成
第6期（R6.11～R7.10）は718人が来場
- ✓ 展示の様子は、youtube・ストリートビューでも配信
youtube総視聴数2,354回



IoT機器の展示

静岡県ロボット・AI・IoTフェア

- ✓ ロボット・AI・IoTの機器展示、県内企業とのマッチングを促進
・ 14社の企業が協働ロボットやAI・IoTシステムを展示(20社参加)

日時	8/25（火） 10：00～16：30
会場	グランシップ6階 交流ホール
来場者	113人（主催、出展企業除く）（予定）



3拠点の遠隔通信

【中核的人材】 高度外国人材と県内企業のマッチング[2-4]

(地域外交課、産業人材課)



(R7面接会の様子)

(高度外国人材採用実践セミナーの様子)

【概要】

- 高度外国人材を対象とした県内企業の採用活動を支援
- オンラインマッチングシステム活用のほか、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、インド、ネパール人材を対象とした就職面接会・ジョブフェアを対面またはオンラインで実施

外国人材マッチングサポート(Work in SHIZUOKA)

- オンラインシステムを活用した県内企業と高度外国人材のマッチング支援
- 海外現地での対面、オンラインでのジョブフェアを開催

フェア日程	開催方式	出展数	対象
10/3・4	ベトナム(ホーチミン)・オンライン	約10社	ベトナム人材
10/17・18	インドネシア(ジャカルタ)・オンライン	約15社	インドネシア人材
11月頃	県内会場・オンライン	約10社	ミャンマー人材

- ✓ 企業は求人掲載、人材はプロフィール情報を掲載し、相互に検索、アプローチが可能
- ✓ システム登録状況(7月末時点)：企業9社、人材61名

インド・ネパール人材マッチング機会創出事業

- 県内企業と高度外国人材のマッチングを支援
- 県内企業向け説明会、現地での学生向け説明会、オンラインでの就職面接会を開催

日程	内容	実績
7/27	高度外国人材採用基礎セミナー	7社9名
8/6	高度外国人材採用実践セミナー	9社13名
8/24・8/26	学生向け現地説明会	—
11/・12/	就職面接会(オンライン開催)	—

【中核的人材】 DXを活用した企業課題解決型プログラムの実施[2-5]

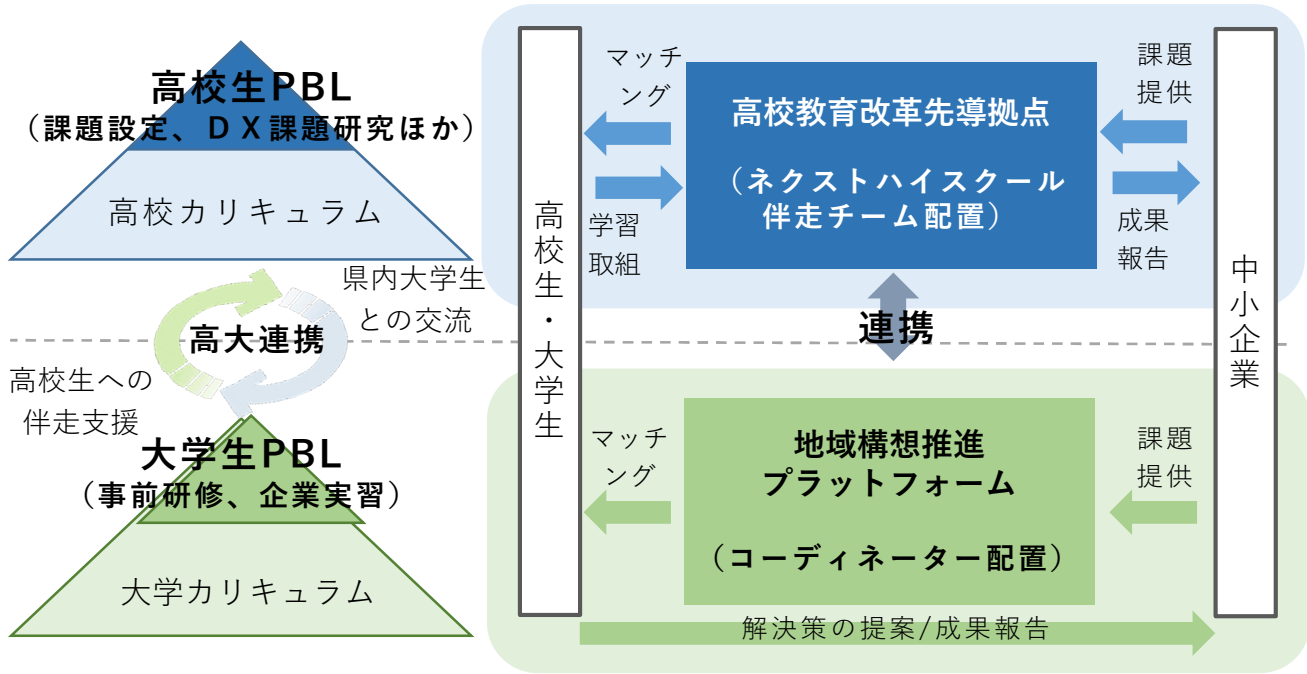
(総合教育課)

地域構想推進 プラットフォーム 構築等推進事業

- ・国は、2040年の社会を見据え、産学官金等の関係者が、人材育成等を議論・推進する「**地域構想推進プラットフォーム**」の構築を推進
- ・本県は、令和8年5月に(公社)ふじのくに地域・大学コンソーシアムを基盤に、プラットフォームを構築。
「高校で育て、大学で磨き、地域で活躍する」静岡型人材循環エコシステムの構築を目指す。

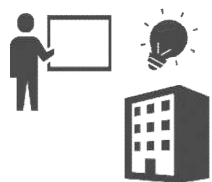
概要

- ・高校生・大学生が**DXを活用し企業の経営課題に取り組む実践型プログラム**を実施
- ・高校教育改革と連携し、高校から大学・企業へとつながる人材育成システムを構築



取組計画 (R8)

- ✓大学生を対象としたモデルプログラム（4件程度）を実施
- ✓高校→大学の連携の仕組みを検討（R9から実施予定）



【全てのビジネスパーソン】 AI等デジタルリテラシー向上を図る講座の開催（県大連携講座）[3-1]

【概要】

- ・県立大学と連携し、デジタルスキル習得を目的とした講座を実施
- ・AIやBIツールを使用したダッシュボードの作成等、受講者のニーズやトレンドを取り入れ、より実効性のあるカリキュラムを実施



講義の様子

静岡県立大学連携講座

✓ デジタル関連の3講座を実施

✓ AIやビジネスダッシュボード作成に関するリテラシーを養成

<機械学習入門>

開催日時：5月30日（土）

対象者：人工知能や機械学習に興味ある方

参加者数：24人

<しくみから学ぶ生成AI>

開催日時：6月20日（土）

対象者：プログラミング言語の経験がある方

参加者数：19人

<ビジネス・ダッシュボード入門>

開催日時：9月5日（土）

対象者：Windowsの操作やキーボード入力に支障が無いこと

参加者数：20名程度

令和8年度 静岡県立大学社会人学習講座
静岡県デジタル人材育成事業連携講座
機械学習入門
～ その歴史と未来展望 ～

近年、人工知能の発展が注目を集めており、その発展を支える技術分野が機械学習です。近年、機械学習は高度な数学の知識が必要であり、数多くの研究者の努力により実現されてきました。ところが、多くの人々が機械学習に興味を持ちながら、学習のハードルを感じて挫折しています。本講座では、機械学習の歴史から、現在の最新技術まで、そして未来展望まで体系的に解説します。様々なプログラミング言語の経験がある方、興味ある方、ぜひ参加してください。

※プログラミングの経験は必要ありません。初心者の方でも大丈夫です。

【対象：お申し込みの条件】 人工知能や機械学習に興味のある方

講座名	開催日時	講師
機械学習入門	5月30日(土)	大田 和也 (静岡県立大学 工学部 情報科学科 教授)
しくみから学ぶ生成AI	6月20日(土)	大田 和也 (静岡県立大学 工学部 情報科学科 教授)

【お申し込み】
お申し込みは、静岡県立大学 社会人学習講座 事務局 までお願いします。
お申し込みの締切は、開催日の1週間前です。

【お申し込みの条件】
お申し込みの条件は、お申し込みの条件を満たすことです。

【お申し込みの条件】
お申し込みの条件は、お申し込みの条件を満たすことです。

【お申し込みの条件】
お申し込みの条件は、お申し込みの条件を満たすことです。

令和8年度 静岡県立大学社会人学習講座
静岡県デジタル人材育成事業連携講座
しくみから学ぶ生成AI

近年、生成AIの発展が注目を集めており、その発展を支える技術分野が機械学習です。近年、機械学習は高度な数学の知識が必要であり、数多くの研究者の努力により実現されてきました。ところが、多くの人々が機械学習に興味を持ちながら、学習のハードルを感じて挫折しています。本講座では、機械学習の歴史から、現在の最新技術まで、そして未来展望まで体系的に解説します。様々なプログラミング言語の経験がある方、興味ある方、ぜひ参加してください。

※プログラミングの経験は必要ありません。初心者の方でも大丈夫です。

【対象：お申し込みの条件】 人工知能や機械学習に興味のある方

講座名	開催日時	講師
しくみから学ぶ生成AI	6月20日(土)	大田 和也 (静岡県立大学 工学部 情報科学科 教授)

【お申し込み】
お申し込みは、静岡県立大学 社会人学習講座 事務局 までお願いします。
お申し込みの締切は、開催日の1週間前です。

【お申し込みの条件】
お申し込みの条件は、お申し込みの条件を満たすことです。

【お申し込みの条件】
お申し込みの条件は、お申し込みの条件を満たすことです。

【お申し込みの条件】
お申し込みの条件は、お申し込みの条件を満たすことです。

令和8年度 静岡県立大学社会人学習講座
静岡県デジタル人材育成事業連携講座
ビジネス・ダッシュボード入門

近年、企業は大量のデータを扱う必要があり、そのデータを効果的に活用するために、ダッシュボードの作成が求められています。本講座では、ダッシュボードの作成に必要なスキルを学び、実際にダッシュボードを作成します。本講座では、ダッシュボードの作成に必要なスキルを学び、実際にダッシュボードを作成します。本講座では、ダッシュボードの作成に必要なスキルを学び、実際にダッシュボードを作成します。

※本講座では、ダッシュボードの作成に必要なスキルを学び、実際にダッシュボードを作成します。

【対象：お申し込みの条件】 人工知能や機械学習に興味のある方

講座名	開催日時	講師
ビジネス・ダッシュボード入門	9月5日(土)	大田 和也 (静岡県立大学 工学部 情報科学科 教授)

【お申し込み】
お申し込みは、静岡県立大学 社会人学習講座 事務局 までお願いします。
お申し込みの締切は、開催日の1週間前です。

【お申し込みの条件】
お申し込みの条件は、お申し込みの条件を満たすことです。

【お申し込みの条件】
お申し込みの条件は、お申し込みの条件を満たすことです。

【お申し込みの条件】
お申し込みの条件は、お申し込みの条件を満たすことです。

【全てのビジネスパーソン・次世代人材】 [3-4]/[4-1]/[4-2] 県立工科短期大学校における各種訓練、学齢期にデジタルに親しむ機会の提供

(職業能力開発課)



(県立工科短期大学校静岡キャンパス)
R3.4 開校

【概要】

- ・DX等に対応できる人材を育成するため、成長産業分野やデジタル化等に対応した在職者訓練を実施
- ・求職者に対する離転職者訓練において、全ての分野のコースでデジタルリテラシーを含むカリキュラムを設定するほか、ITやWeb系の資格取得を目指すコースを設定
- ・工科短期大学校で、IoT等の次世代技術や最新の情報処理技術を習得し、ものづくりの現場等で活躍できる人材を育成（2年制）
- ・ものづくりへの関心を喚起するため、学齢期においてデジタル技術に親しむ機会を提供

在職者訓練（DX等に対応できる人材育成）

- ✓ コース
 - ・初めて学ぶ生成AI、ノーコード技術（導入編）（新規）
 - ・業務改善に向けたデジタル化入門
 - ・プログラミング入門・アプリケーション開発入門 ほか
- ✓ 計画
 - ・R7実績：86コース 526人
 - ・R8計画：95コース 913人



「IoTを活用した
アプリケーション開発技術」講座

離転職者訓練（デジタルリテラシーの習得）

- ✓ コース
 - ・IT技術者養成（基本情報技術者の資格取得）
 - ・Webデザイン（Webクリエイターの資格取得） ほか
- ✓ 実績
 - ・R7実績：59コース 691人
 - ・R8計画：58コース 806人



CAD/CAM/CAE実習

県立工科短期大学校における高度人材育成

- ✓ 電子情報技術科（R8入学者：17人）
 - ・電子回路設計製作実習
 - ・組み込みソフトウェア実習
 - ・インターフェース技術
- ✓ 情報技術科（R8入学者：19人）
 - ・システムインテグレーション実習
 - ・システム分析・設計実習
 - ・ITネットワークシステム

(取得可能資格)

- ・応用情報技術者
- ・ネットワークスペシャリスト
- ・データベーススペシャリスト等



システム分析・設計実習

学齢期におけるデジタル技術に親しむ機会の提供

- ✓ デジチャレンジ教室（R8計画：181人）
 - ・電子工作やプログラミング等のデジタル技術を使ったものづくり体験
- ✓ 小中学生職場体験講座（R8計画：約2,000人）
 - ・ものづくりへの関心を喚起するための職業体験等



デジチャレンジ教室

【次世代人材】 次世代AI開発者（エンジニア）の育成[4-3]

プログラミング・AIソリューションコンテスト

【概要】

- ・将来を担う次世代人材を対象に、プログラミング作品の制作及びAIソリューションを開発するコンテストを開催し、スキルを養成する
- ・小中高校生を対象とする「プログラミング部門」及び高校生、専門学生含む大学生を対象とする「AI部門」の2部門構成
- ・R元年度から開催し、今回で8回目



【第8回大会の概要】

名称	第8回Digital Future Festジュニアプロコン&AIグランプリin静岡
部門	2部門制（プログラミング部門、AI部門）
対象者	プログラミング部門：小中高校生 AI部門：高校生、大学生
最終審査会・授賞式	令和9年1月24日（日）@グランシップ
作品応募期間	プログラミング部門：7月15日～9月30日 AI部門：7月15日～10月14日
協賛企業	12社

【AI部門向けセミナー開催状況】

日時	年8月10日（月）13:30～17:30
場所	SHIP
講師	1次審査担当及び協賛企業
参加人数	2名（大学生1名、小学生1名）



プレゼンの様子（R7）



セミナーの様子（R8）



集合写真（R7）

【次世代人材】 次世代AI事業企画者（ビジネスプランナー）の育成[4-4]

FuJI:AI

Future Japan AI Innovator

【概要】

- ・ビジネスプランのアイデアを持つ県内高校生に対し、起業を体感するプログラム（成功・失敗を体験できる場の提供）を実施
- ・プログラムの一環として、合宿形式でのキックオフイベントを実施するほか、AI技術の理解促進を図る講義や国内外で活躍する起業家等との交流の機会を提供



【概要】

- ・起業などに関心のある学生のコミュニティ
- ・SHIPを会場に定期的にイベントを開催するとともに、オンライン上でコミュニティ活動を展開

次世代AIビジネスプランナー育成プログラム事業の概要

事業名	FuJI:AI(Future Japan AI Innovator)
対象	高校・高専1～3年生(県内在学または在住)
期間	8月～3月(約7ヶ月間)
【令和8年度の実績】	
採択数	12チーム(18人)※1～3人単位で募集、開始後の再編あり
受講者の在籍高校	【東部】6名 【中部】10名 【西部】1名 【その他】1名
学年	1年生:6人、2年生:6人、3年生:6人

CREWSの概要

参加対象	起業等に挑戦したい学生(高校生、高専生、大学生等)
会員	62人(2026年7月末時点)
主な活動	・毎月「SHIP-CREWSDAY」を開催し、学生の交流を促進 ・オンライン(Slack)上でコミュニティ活動を展開

【次世代人材】 教員研修及び学校環境の整備[4-5]

(高校教育課)



G I G Aスクール構想

【概要】

- ・社会で求められる基本的な資質・能力としての情報活用能力を身につけた人材の育成とともに、高等学校におけるデジタル等成長分野を支える人材の育成を推進する。
- ・児童生徒を指導する教員の I C T 活用指導力の向上のため、研修の充実などを図る。

県立高校におけるデジタル人材育成(D Xハイスクール)の推進

- ✓ カリキュラムの見直し
 - ・情報・理数等の教育内容の充実
 - ・文理横断的・探究的な学びの機会の確保
 - ・専門学科における情報教育の拡大
- ✓ I C T 環境の整備
 - ・デジタルを活用した授業等を実施するための設備を配備した環境の整備
- ✓ 教員の育成
 - ・外部専門人材(研究機関・企業の専門人材、大学等の教員)を活用した教育研修の実施

デジタル等成長分野を支える人材育成(D X人材エコシステム)

- ✓ 小中高生対象プログラミング講座の実施
 - ・iPhoneアプリ制作コース
 - ・W E B サイト制作コース

学校現場の支援体制の確保

- ✓ 支援体制の確保(県立学校)
 - ・学校からの照会対応や技術支援を行うヘルプデスクの開設
 - ・授業や校内研修などを支援するスタッフの派遣
 - ・マニュアルや他校における I C T を活用した好事例、各種コンテンツをポータルサイトで提供

I C T 活用指導力の向上

- ✓ I C T 活用に係る教職員研修
 - ・学校や市町の要望に合わせた出前研修
 - ・授業で I C T を活用して、習熟度別学習や協働学習など専門的な指導をするための研修
 - ・企業や団体と連携したクラウドツールの活用研修
 - ・生成 A I の活用や情報モラルの指導に関する研修



出前講座

静岡県スタートアップ支援戦略2026（全体イメージ）

資料5

目的

1 県内企業の課題解決 2 社会課題の解決 3 雇用の創出・多様な働き方 4 新たな産業の創出

目指す
地域の姿

- 多彩な地域資源を活用し 成長を目指してスタートアップが活躍できる地域
- 産学官金の連携によるコミュニティが県内各地で形成される地域
- スタートアップへの理解が浸透し起業を目指す者が多く生まれる地域

スタートアップフレンドリーな
静岡県へ

2026
方針

- ① スタートアップ支援の効果の地域への波及（創出・育成・連携・誘致+波及） ② AI技術の県内への導入促進

地域イノベーション・エコシステムの構築
（ゼブラ/ローカルゼブラ）

静岡県発のグローバルスタートアップの創出
（ユニコーン/ガゼル）

国等の施策との連携

CENTRAL JAPAN
Shizuoka Region Committee

取組の拡大
地域への波及
誘致促進

TECH
BEAT
Shizuoka

cic
ICOI
プロジェクト

首都圏
共創拠点
温泉旅館
オフィス

マッチング・実証実験支援

県内企業・
自治体との
マッチング

TECH
BEAT
Shizuoka

地域との
マッチング・
実証実験支援

CO-LAB
Shizuoka

県マッチング
公共調達
モデル創出

静岡財大スタートアップ
公共調達モデル創出支援

【新規】
中小企業への
AI導入実証支援
特定分野の支援
（スポーツ・
観光・環境 等）

中核支援
拠点の運営

SHIP

より効果的な
資金調達支援の検討

資金調達支援

VCと連携した
資金調達支援

SHIZUOKA
FUND
SUPPORT

海外展開
支援【新規】

VIVA
TECHNOLOGY

Fuji Pharma Valley

MaOI
Institute

AOI-PARC

PHOTONVALLEY

次世代産業関連PJの
支援プラットフォーム
を活用した研究開発系
スタートアップの支援

大学発
ベンチャー支援

県内大学協議会・
コーディネーターマッチング等

医療健康産業
（ファルマ、ウェルネス）

海洋産業(MaOI)

農業(AOI, ChaOI)

光・その他製造業
（フoton、CNF、モビリティ等）

地域コミュニティ形成

Open-Innovation
静岡市コ・クリエーションスペース
SEEeAs
Shizuoka
LtG Startup Studio

* FUSE
COMPASS

県内各地域のコミュニティの形成支援
・支援拠点同士の連携強化

国内外のネット
ワーク拡大

cic
首都圏拠点
の運営等

次世代人材育成（アントレプレナーシップ醸成）

【新規】
次世代AI人材育成プログラム
（ビジネスプランナー/エンジニア）

起業等を目指す学生
コミュニティの運営
・更なる挑戦の促進

CREW'S
produced by SHIP

県内外のアントレプレナー
プログラムの情報・人材集約

静岡県の地域資源・地域特性

全国屈指の「ものづくり県」、多彩な農林水産物、駿河湾・伊豆半島・富士山等の豊かな自然環境
全国トップの健康長寿県、交通ネットワーク、スポーツ・文化・観光資源、防災先進県 など

成長フェーズに合わせた
切れ目のない支援

（産業化）ミドル

（事業化）アーリー

（創業・開発）シード

（創業前）プレシード

III

エコシステム
形成・発展

II

成長加速

I

人・場づくり
機運醸成

施策展開

◆「静岡県デジタル人材確保・育成戦略（2025～2028）」に基づき事業展開。 デジタル人材を巡る社会状況の変化を捉えながら事業を展開する。

2019.2 ○ ふじのくに ICT 人材確保・育成戦略

・デジタル人材を巡る社会状況の変化（デジタル人材のスキルの多様化、生成AIの急速な発展等）

2026.3 ○ 静岡県デジタル人材確保・育成戦略（2025～2028）

デジタル人材の役割・
スキルの多様化への対応

AIイノベーションの推進

成功事例の創出と
横展開の強化

（令和9年度の実施方針（案））

○フィジカルAIを担う人材の確保・育成

- 日本成長戦略会議においてフィジカルAIが戦略17分野「AI・半導体分野」の軸に
- 「半導体・デジタル産業戦略」（経済産業省）改定骨子案にてフィジカルAIを戦略領域の最重点分野に位置付け

→県としても関連産業の創出と企業現場への導入支援を検討

○教育委員会と連携した次世代人材育成

→ネクストハイスクール構想との連携（産業イノベーション人材育成に向けたスタートアップ教育（浜松工業高校））

2029.3 ○